

トピック



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



里山広葉樹資源の有効活用

【森林技術・支援センター】



広葉樹の調査

森林技術・支援センターは、岡山県新見市に所在し、森林・林業に関する技術の研究・開発を行い、それらの成果を発信することで、広く一般への普及をめざしています。

所長以下5名で一年を通じて様々な調査を行うとともに、研修の開催や受け入れ、研究成果の発表、民有林関係者を集めた現地検討会等を行っています。今回は、その中から技術開発として取り組んでいる「里山広葉樹資源の有効活用」について紹介します。



高性能林業機械による
広葉樹伐採の効率化

里山の広葉樹はかつては燃料材として利用され、比較的短い期間での伐採・更新が繰り返されながら維持されていましたが、化石燃料が主流となったことから、今では放置され、大径木化が進んでると言われています。

こうした里山広葉樹資源の有効活用と効率的な施業技術を確立するため、新見市内の釜谷国有林において広葉樹の伐採



天然更新した
コナラ稚樹

搬出を試験的に行い、低コスト化や天然更新に関する知見の集積を行っています。

広葉樹施業の調査研究に関しては、民有林関係者や教育機関からも問い合わせが多く、研修での利用や現地調査、見学について当センターでは説明や、現地案内を行っています。



取組概要の説明



伐採地の見学



3Dレーザースキャナ計測体験

年明け1月10日(金)には津山総合木材市場で初市が開催され、釜谷国有林のコナラ、アベマキなどの広葉樹材を中心に約300㎡が初競りにかけられました。県内外からの多数の買主の来場により盛況な初競りとなり、国有林からの広葉樹材も完売しました。

広葉樹材がどのように流通して行くのか、どのような需要があるのかを調査するため、若手職員で構成するワーキンググループが中心となり、国有林から出材された広葉樹についての感想や、需要動向についてアンケート調査を行いました。



津山総合木材市場(新見支店)



初競りの様子



買主へのアンケート

センターでは今後も引き続き、里山広葉樹について調査を進め、試験結果を広く民有林へも普及できるよう取組を進めます。

ニュース



【石川森林管理署】

令和2年1月15日(水)、小松市役所7階会議室で安宅林風景林管理協議会を開催しました。



協議会の様子

本協議会は平成30年11月に設立され、今回が2回目の開催となりました。小松市副市長の議事進行のもと、今年度の風景林における当署事業の実施及び小松市による安宅公園のリニューアル事業計画について説明を行いました。



出席委員からは、風景林の美化運動への協力依頼やベンチ及び看板の設置要望が出されました。

当署としては、小松市と連携しながら地域住民等と一体となって、今後とも風景林の魅力度向上に努めて参ります。



「みえ子ども森の学びサミット」 へブース出展

【三重森林管理署】

令和元年12月7日(土)に松阪市の、みえこどもの城で「森林や林業、木について楽しく学べる」をテーマに「みえ子ども森の学びサミット」が開催されました。このイベントは、森林環境教育・木育にさらに注力して推進していくことを趣旨として開催しています。



ブースの様子



作品展示

三重森林管理署のブースでは、様々な木の実を使用したクリスマスオーナメント作りや木の種子の展示を行いました。

木の種子の展示については、立ち止まって興味深そうにみられている来場者が多くいました。

職員が木の種子について説明を行い、なかには「これ知っている」と言ってクリヤトチの実を触る子どももいました。

特に子どもたちに人気があったのはマツの種子でした。



クリスマスオーナメントの作成

マツやカエデの種子には羽があることから、落ちる際にくると回転しながら落ちていきます。子どもたちは夢中になり背伸びをしてみたり、飛び上がったりの種子を飛ばしていました。

クリスマスオーナメント作りでは、作成を始める前にグルーガンを使用するので加熱部に触れないようにすることを伝え、オーナメントの見本をもとに作成手順を説明し、作業にとりかかりました。



クリスマスオーナメントの作成

さまざまな木の実の材料を前に、どの木の実を使おうかなと悩み、立ち止まってしまう子どもたちでしたが、作り始めると次々とアイデアがあふれだし、急いで材料を取りに行く場面もありました。また、子どもたちだけでなく、親御さんも材料を何回もつけては外しを繰り返すなど夢中になってクリスマスオーナメント作りを楽しむ姿が見られました。

できあがった作品はどれも個性豊かな作品となり、「楽しかった」、「またやりたい」などの声もありました。

三重県、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団が主催している本イベントは、毎年開催されています。三重森林管理署では、来年もブースを出展していく予定ですので、みなさまの参加をお待ちしています。



できあがったクリスマスオーナメント

もり 森林のギャラリー(局庁舎1階)

展示協力団体

(公社) 日本木材加工技術協会 関西支部
早生植林材研究会

展示内容・期間

1. 展示内容

早生樹や国産材を使った木材製品や試作品の紹介

2. 展示期間

3月2日(月)～3月27日(金)

3. 開館時間

月曜から金曜日まで(土日、休日は除く)

9時00分～17時00分

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(44通目)を発行しました

～冬の大杉谷について～

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/oosugitegami_044.html



【広島北部森林管理署】

○かわら版「ひろほく通信」第10号を発行しました。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku_tusin/attach/pdf/hirohoku_tusin-10.pdf



我が署のスタッフ 岡山森林管理署 弓削 沙織 (ゆげ さおり) (平成30年度採用)



【現在取り組んでいる仕事は？】

昨年度に採用されてから、業務グループで経営担当として配属2年目になります。

私は経営用務の中で、主に収穫調査・立木販売について担当しています。本年度は収穫調査の用務で、区域全体の木を測る毎木調査に初めて携わりました。現地調査は大変でしたが、調査結果を署内に持ち帰り数値や図に起こしたときとても達成感がありました。

また、経営用務では他の担当の方との連携が欠かせません。署内全体でひとつの仕事を行っていると感じることが多く、緊張感と責任感がありますが同時にやりがいも感じます。

【職場の雰囲気は？】

岡山署の雰囲気はアットホームで、「報・連・相」が実行しやすい環境にあります。ひとりで抱え込むことなく何でも相談のできる環境に、とても恵まれていると感じています。

自信を持って思うようにやってみていいよと背中を押していただけるので、前向きにのびのびと仕事に取り組むことができていると思います。

【林野庁の魅力とは？】

木というロングスパンのものを扱っているため、若手職員に対しても長い目で成長を見守ってくれるところだと思います。木に負けないようにしっかり成長していきたいです。

森林官等紹介

龍神森林事務所（和歌山森林管理署）首席森林官 田上 政幸

西ノ河国有林ツガ・ブナ希少個体群保護林



(林外からの遠景)



(林内の近景)

龍神森林事務所は、和歌山県中部の田辺市龍神村にあります。

管轄区域は、田辺市（旧龍神村の区域）、御坊市及び日高郡6町全域で、国有林は6団地約3,060ha。官行造林は7団地で約450ha。両方合わせて約3,510haの森林を管理しています。

当事務所が所在する田辺市龍神村は、日本三大美人の湯として名高い「龍神温泉」があり、毎年多くの湯治客が訪れます。

管内の森林は、東は奈良県境の近く、西は紀伊水道際に位置し、紀伊山地の一角をなしています。

標高300mから1,200mに存在し、急峻な地形が大半を占め、年間の平均降水量は約2,800mmと多雨地域であり、温暖な気候もあいまって、木の成長に適しており豊かな森林を形成しています。

森林の生き物は、ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシ等大型哺乳類が生息しています。ニホンジカによる造林木の食害等の被害は、近年各地で目立っており、当事務所でも平成28

年度からシカ捕獲委託事業を開始し、平成29年度には約60頭のニホンジカを捕獲するなど、大きな成果を上げ、地元地区からも高く評価されています。

国有林野の林況は、スギ・ヒノキを主体とする人工林が多くを占めていますが、西ノ河国有林（日高川町）に「西ノ河ツガ・ブナ希少個体群保護林」及び「西ノ河モミ・ツガ遺伝資源希少個体群保護林」、亀谷国有林（田辺市）には「亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林」が設定されていて、樹齢300年余りの大木が並ぶ様は壮観です。

また、地元地区の林業に対する関心は高く、田辺市、森林組合等が主体となり毎年11月下旬に「龍神林業祭り」が2日間にわたって開催され、様々な林業に関する展示物等で多くの人が賑わいます。



出来上がった苔テラリウム



苔テラリウム作成中

森林管理署もコーナーを設けて参加し、木工品や苔テラリウム等を来客者に作成してもらっています。持ち帰りは自由で人気のコーナーとなっています。

シリーズ 『国有林 最前線!』

近江湖南アルプス自然休養林 ～多くの方の利用を～

滋賀森林管理署



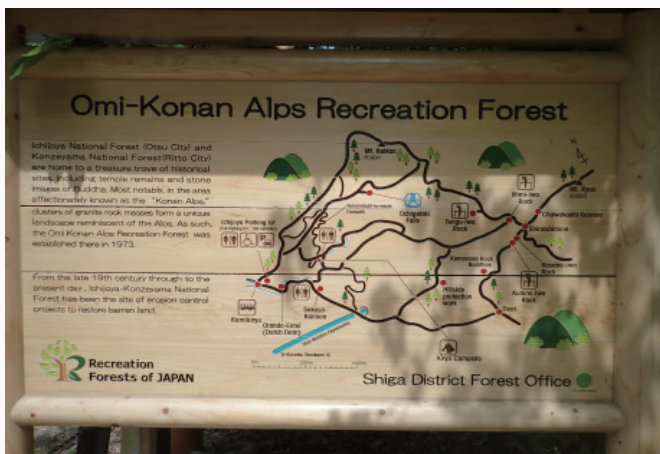
近江湖南アルプス自然休養林

滋賀森林管理署では、琵琶湖の南端部に位置する一丈野国有林及び金勝山国有林のうち、合わせて1,136haを「近江湖南アルプス自然休養林」に設定し、地元関係者と協働して、レクリエーションの森にふさわしい環境整備に努めています。

当自然休養林は、大津市街地から車で40分程度と近いうえ、明治22年にオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケの指導により築設されたオランダ堰堤付近は、水量が豊富で水深も浅いため川遊びに最適で、夏場は大勢の家族連れで賑わっています。

また、金勝山の山頂付近を中心に歩道が整備されているため、山登りやハイキングも盛んに行われており、年間数万人の方が近畿一円から訪れています。

さらに、近年増加してきた外国人観光客にも快適に森林レクリエーションを楽しんでいただくため、英語表記の総合案内看板を設置するとともに、道標に英語表記を加え、さらに英語版のリーフレットも作成しました。万一事故等が発生した場合に、正確な所在地を伝えるための「コールポイント」にも、英語を併記しています。



総合案内板(英語)

当自然休養林は、「日本美しの森 お薦め国有林」にも選定されていることから、今後も、より多くの方が安全かつ楽しく森林にふれあっていただけるよう環境整備等に取り組んで参ります。



オランダ堰堤と紅葉



道標(天狗岩線)



コールポイント(K-15)